

3月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
みかん類	3,311	104	3,334	321	92	283	-	0.0	静岡、徳島、香川、佐賀、神奈川産中心の入荷となる。静岡は3月中旬から貯蔵品の出回りとなり、4月初めには切り上がる。徳島はMサイズ中心と小玉傾向で、入荷量は前年を下回る。香川は3月上旬に入荷のピークを迎える。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回るものの平年より高くなる見込み。
りんご類	5,048	140	6,910	376	70	263	9	0.2	青森産が殆んどを占め、長野、山形、秋田産も入荷する。青森は中心サイズが40玉で小玉傾向であるが、品質のそろいは良好である。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回るものの平年より高くなる見込み。
いちご類	4,943	99	5,305	1,109	96	989	-	0.0	栃木、福岡、佐賀、茨城、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温と降雪の影響により各花房の着果数が少なく、入荷量は前年をやや下回る。福岡は1月下旬以降の気温の上昇により生育が回復傾向で、入荷量は前年並みとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
メロン類	343	95	441	1,347	106	1,082	-	0.0	静岡、熊本、宮崎、高知産が中心となる。品種はアールス、アンデスなど。静岡のアールスは6玉の7~8kg台が中心サイズで、品質は良好である。熊本のアンデスはLA・Lが中心サイズで小玉傾向となっている。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。